



「こころときめく贈り物」

～高校生にすすめる1冊の本～第4号



愛知県教育委員会

「こころときめく贈り物」も第4号となりました。この約1年間で本との良い出会いをすることができたでしょうか？読書は「縁」です。紹介されてきた本には自分では選ばない本もあったかと思いますが、新たな世界の扉を開け、自分の世界を広げてみてはどうでしょうか？あなたを受け入れてくれる世界が必ず待っています！

OS☆Uのメンバー、荒木さんと大野さんが高校生みなさんにすすめる本です。

●君の臍臓をたべたい 住野 よる／著 双葉社 2015.6



まずこのタイトルに驚きました。
人と極力関わらない地味な主人公の男の子と、臍臓に病気を抱えているクラスメイトの女の子のお話です。
最後この本を読み終わったあと、タイトルの意味の深さにとても感動しました。
周りの人の大切さや、1人では生きられないと改めて考えさせられました。
そして作者の住野よるさんは、この本がデビュー作らしいです。そこにも驚きです！
みなさんも是非読んでみてください！



荒木美穂

●Nのために 湊 かなえ／著 双葉社 2014.8



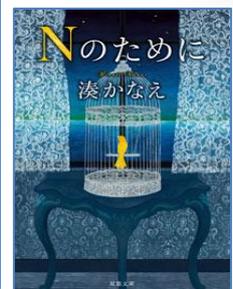
大野咲貴

この作品は純愛ミステリー小説です。ある夫妻が殺害され、現場に居合わせた4人の男女の証言から明らかになる真実とは…！？

登場人物は全員イニシャルがNであり、それぞれが挫折や悩みを抱えている中で自分の大切に思う相手=Nのために強く思って行動したことが招いた結果どのようなことになってしまったのか読み進める中でわかってきます。

純粋に相手を想う気持ちが伝わってきたけど、結果的に起きてしまった事件がすごく切なくて過去と現在を行き来しながらのストーリーに引き込まれました。

事件の真相やそれぞれのNへの想いはぜひ最後まで読んで確かめてみてください！



あなたは、自分の思いを言葉にして伝えることができますか？



●西の魔女が死んだ



梨木 香歩／著
新潮文庫刊
2001.8



あなたは、自分の思いを言葉にして伝えることができますか。そして、それを静かに受け止めてくれる大人が身近にいますか。あなたが不安なときに相談することができる大人が近くにいてくれますか。もし不安なままのあなただったら、この本はぴったりです。

子どもは受け止めてもらって成長します。西の魔女の魔女修行を受けて、どうぞ自分を上手に作り上げてください。そうすれば、あなたも「アイノウ」と、静かに子どもの話を聞くことのできる素敵な大人になることでしょう。

学校、友達、家族。なんとなく、何か違うと思いながら、無理をして、心が固くなってしまったあなた。この本を読んで「まい」といっしょに魔女の手ほどきを受けましょう。きっと心がほぐれて新しい世界が開けるでしょう。

やっぱり原点に戻ってみませんか？最初の「王子さま」へ会いに。

●星の王子さま



サン=テグジュペリ／著
内藤 濯／訳
岩波少年文庫
2000.6



サン=テグジュペリ／著
河野 万里子／訳
新潮文庫刊 2006.4

「星の王子さま」、タイトルだけなら聞いたことがあるかもしれませんがね。1943年にフランス語で書かれたこの原著が、1953年に日本語訳で出版されてもう60年あまり。あれからいろいろな人が、この素敵なお話を日本語で紹介してくれました。より深いメッセージを伝えるために大人向けの表現へと変った訳、よりやさしく読んでもらうために子ども向けの表現へと変った訳、様々な訳が出版されました。ここで、原点にもどってみませんか？初めて日本人が「星の王子さま」に出会った時の本に。改めてこの本の良さに気付けるでしょう。新しい発見ができるでしょう。ほら、王子さまが待っていますよ。

様々な訳を読み比べてみてはどうでしょうか！

砂漠に不時着したパイロットが会った不思議な男の子。彼は愛するバラをふるさとの星に残し、星巡りの旅ののち地球にやってきた、小さな王子さまでした。絵入りの（挿絵を描いているのも作者サン=テグジュペリです。）子供向きの本かという、決してそうとは言い切れません。

王子さまはどのような存在か？バラとは何か？

読み返せば読み返すほど、次々に疑問が湧いてきます。新訳でさらに読みやすくなったこの本を、ぜひ手にとってみてください。



とにかく一気に読み間違いなしの1冊。



●ボックス！ [上] [下]



高校のボクシング部に所属する幼なじみの鎬矢と木樽の青春、と言ってしまうとそれまでですが、二人を見守る教師耀子や病弱な同級生との交流をスパイスに、ボクシングに打ち込む硬派な少年たちの青春を熱く、さわやかに描いています。名前のように真っすぐに人生を突き進む破天荒な鎬矢。子ども時代の辛い体験から思慮深く、優等生の木樽。守る側と守られる側が次第に強力なライバルへと変化していくところも見どころです。

二人の友情や挫折、栄光に感動必至。ちなみに、ボクシングについての知識はなくてもOK。



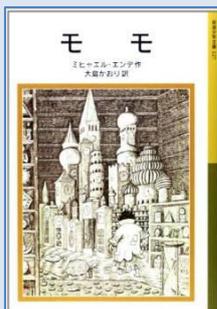
「永遠の0」で有名な百田尚樹がスポーツに青春をかけた高校生を描いた作品です。タイトル「ボックス！」、これはボクシング開始の合図。このかけ声がかかると、自己の欲求を抑制し、苦しい練習を積んできた成果が試されるのです。読んでいくとボクシングを知らない人にも十分その魅力が伝わります。主人公は、天才と努力家というタイプの異なる二人。この二人がボクシングをとおして成長していく姿を見てください。

百田 尚樹／著
講談社
2013.4

生活や社会が窮屈に感じたときに読んでみよう！



●モモ



最近流行のSNS、誰でも一つはアカウントを持っているでしょう。「自分のことを知ってほしい」「理解してほしい」「・・・できれば羨んでほしい」。そんな意識が蔓延して、みんな自分の話を聞いてもらいたがっています。

こんなとき、モモだったらどうするかな。そして、この話を読み終わったあなたはどうするのかな。生活や社会が窮屈に感じたとき、自分が自分であるために必要なことを教えてくれる本です。

ミツハエル
・エンデ／著
大島 かおり／訳
岩波少年文庫
2005.6

「時間がない」「余裕がない」私たちは日々の忙しさの中で、何か大切なものを自分から手放してしまっているのかもしれない。「モモ」は円形劇場に突然現れた女の子で、黙って人の話に耳を傾けるだけで、その人の悩みを解消させる不思議な力を持っています。町の人たちは、何かあると「モモのところへ行ってごらん」とモモを頼りにするようになります。そんなモモたちの前に時間の貯蓄を勧める「灰色の男たち」が現れ、人々は余裕をなくしていきます。

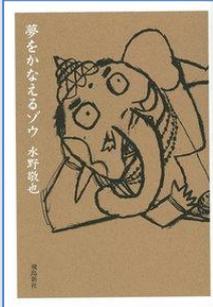
わくわくしながら読め、時間とは何か、生きる上で大切なものは何かを考えさせてくれる1冊です。





自分を変えたいけれど、変えられないと思い悩んでいるあなたに最適の本！ぜひ、一読を！

●夢をかなえるゾウ 文庫版



水野 敬也／著
飛鳥新社
2011.5



この本は自己啓発本なのですが、あらゆる自己啓発本を超えるようなエネルギーをもっています。ゾウの神様であるガネーシャと主人公の面白いストーリーになっており、ガネーシャの主人公に対する言葉を聞いて自分も頑張ってみようという気が湧いてきます。

まさに今、高い目標を掲げ頑張ろうとしている皆さんにぜひ読んでほしい本です。

総計 180 万部を超えたベストセラー小説で、テレビドラマにもなりました。ごく普通のサラリーマンの主人公が「神様」を名乗る謎の生物・ガネーシャの指導によって自らの人生を変えていく物語です。

この本では、「与えられた課題を実践し、身につくまで継続することが大切である」と力説しています。主人公に与えられた課題も「靴を磨く」「コンビニでお釣りを募金する」「食事は腹八分目にする」といったごくごく簡単なものです。

この本を読んで、みなさんでもできることから取り組んでみませんか。

「こころときめく贈り物」～高校生にすすめる1冊の本～は、愛知県内の国立・公立・私立高等学校・特別支援学校(高等部)・中等教育学校(後期課程)の図書館担当など274人の先生方から推薦のあった本や、高校生が友だちにすすめたい本を生徒のみなさんに紹介するものです。

このリーフレットは、「愛知県子どもの読書活動」ウェブページで見ることができます。

→ <http://www.pref.aichi.jp/0000027044.html>

愛知県子ども読書

検索

発行：平成27年12月（第4号）

問い合わせ先：愛知県教育委員会生涯学習課 syogaigakushu@pref.aichi.lg.jp

〒460-8534 名古屋市中区三の丸三丁目1番2号

☎052-954-6781 FAX052-954-6962

